

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第3週の発生動向

トピックス

・**インフルエンザ** (定点把握の対象となる疾患) の第3週 (1/16~1/22) の定点当たりの報告数は42.5と、今シーズン初めて流行警報開始基準値(30.0)を上まわりました。昨シーズンと比較して3週早くなっています。

全数報告の感染症 (3週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 6 例。3 類感染症：報告なし。
4 類感染症：つつが虫病 1 例。5 類感染症：侵襲性肺炎球菌感染症 1 例、梅毒 1 例。

疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型	症状等
2類 結核	宮崎市	60歳代	男	無症状病原体保有者	—
		60歳代	女	無症状病原体保有者	—
		80歳代	男	肺結核	咳、胸痛
		80歳代	男	結核性リンパ節炎	症状なし
	小林	90歳代	女	肺結核	痰
	高鍋	70歳代	男	肺結核	咳、呼吸困難
4類 つつが虫病	宮崎市	70歳代	女	—	発熱、刺し口、発疹、食欲不振
5類 侵襲性肺炎球菌感染症 梅毒	宮崎市	70歳代	女	—	頭痛、発熱、嘔吐、意識障害、項部硬直、髄膜炎、菌血症 ワクチン接種歴有(平成26年11月)
	宮崎市	60歳代	女	無症状病原体保有者	—

定点把握の対象となる5類感染症

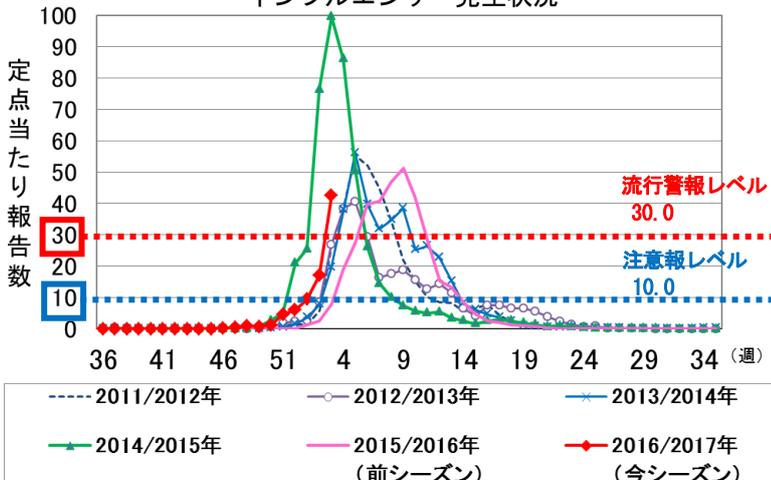
・定点医療機関からの報告総数は3,334人(定点当たり67.0)で、前週比171%と増加した。前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザと伝染性紅斑で、減少した主な疾患はなかった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【インフルエンザ】

報告数は2,509人(42.5)で、前週比250%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(33.3)の約1.3倍であった。日向(83.8)、宮崎市(46.7)、小林(43.2)保健所からの報告が多く、年齢別は5~9歳が全体の約3割を占めた。

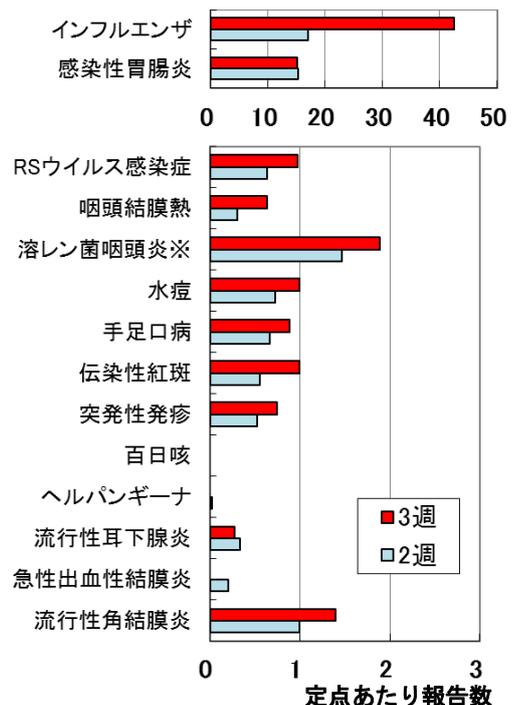
インフルエンザ 発生状況



【感染性胃腸炎】

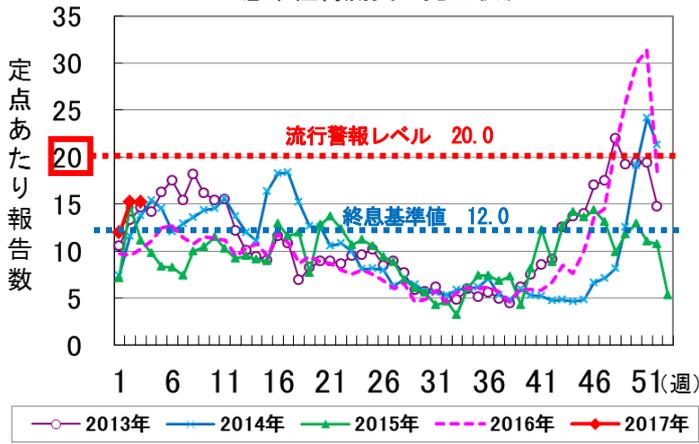
報告数は548人(15.2)で、前週比100%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(13.8)の約1.1倍であった。日南(29.0)、小林(28.0)、都城(19.8)保健所からの報告が多く、年齢別は2~5歳が全体の約4割を占めた。

《前週との比較》

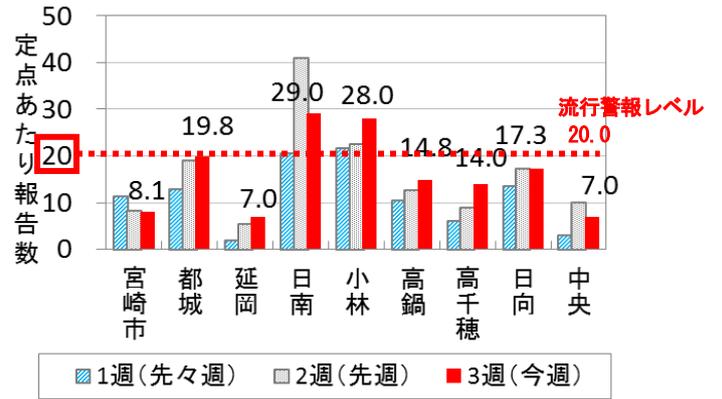


※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

感染性胃腸炎 発生状況



感染性胃腸炎 保健所別推移 (3週分)



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：延岡保健所から1例報告があった。0～4歳であった。

○感染性胃腸炎(ロタウイルス)：延岡保健所及び日向保健所から各1例ずつ報告があった。いずれも0～4歳で、病原体の群別は不明であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	インフルエンザ(46.7)
都城	インフルエンザ(31.0)
延岡	インフルエンザ(39.9)
日南	インフルエンザ(37.0)、感染性胃腸炎(29.0)
小林	インフルエンザ(43.2)、感染性胃腸炎(28.0)
高鍋	インフルエンザ(29.5)
高千穂	インフルエンザ(15.5)
日向	インフルエンザ(83.8)、水痘(4.3)、伝染性紅斑(4.0)
中央	インフルエンザ(30.5)

＊流行警報レベル開始基準値＊

- ・インフルエンザ(30.0)
- ・感染性胃腸炎(20.0)
- ・伝染性紅斑(2.0)

＊流行注意報レベル基準値＊

- ・インフルエンザ(10.0)
- ・水痘(4.0)

📊 全国 2017 年第 2 週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (全国第 2 週)

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	302 例				
3類感染症	細菌性赤痢	3 例	腸管出血性大腸菌感染症	10 例		
4類感染症	E 型肝炎	7 例	A 型肝炎	1 例	つつが虫病	7 例
	デング熱	4 例	レジオネラ症	11 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	15 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	12 例
	急性脳炎	8 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	8 例
	後天性免疫不全症候群	14 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	7 例	侵襲性肺炎球菌感染症	57 例
	水痘 (入院例)	3 例	梅毒	50 例	播種性クリプトコックス症	1 例
	破傷風	1 例	風しん	1 例	麻しん	2 例

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 130%と増加した(年末年始を含む)。前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症と水痘であった。

インフルエンザの報告数は 75,576 人(15.3)で前週比 144%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(13.4)の約 1.1 倍であった。愛知県(24.7)、岐阜県(21.0)、埼玉県(20.2)からの報告が多く、年齢別では3～6歳が全体の約2割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 20,506 人(6.5)で前週比 122%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(7.8)の約 0.8 倍であった。大分県(18.3)、福井県(16.1)、宮崎県(15.3)からの報告が多く、年齢別では1～3歳が全体の約3割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均値

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2017年 第3週(1月16日～1月22日)

疾病名		第2週	第3週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	1003	2509	747	310	279	185	216	177	31	503	61
	定点あたり	17.00	42.53	46.69	31.00	39.86	37.00	43.20	29.50	15.50	83.83	30.50
RSウイルス 感染症	報告数	23	35	3	11	13	5		1		2	
	定点あたり	0.64	0.97	0.30	1.83	3.25	1.67	0.00	0.25	0.00	0.50	0.00
咽頭結膜熱	報告数	11	23	5	4	2	8				4	
	定点あたり	0.31	0.64	0.50	0.67	0.50	2.67	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	53	68	34	1	8	10	1	5	2	2	5
	定点あたり	1.47	1.89	3.40	0.17	2.00	3.33	0.33	1.25	2.00	0.50	5.00
感染性胃腸炎	報告数	549	548	81	119	28	87	84	59	14	69	7
	定点あたり	15.25	15.22	8.10	19.83	7.00	29.00	28.00	14.75	14.00	17.25	7.00
水痘	報告数	26	36	2	1	4	3	2	7		17	
	定点あたり	0.72	1.00	0.20	0.17	1.00	1.00	0.67	1.75	0.00	4.25	0.00
手足口病	報告数	24	32	9	7	13	2	1				
	定点あたり	0.67	0.89	0.90	1.17	3.25	0.67	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	20	36	9		1	2	2	5		16	1
	定点あたり	0.56	1.00	0.90	0.00	0.25	0.67	0.67	1.25	0.00	4.00	1.00
突発性発しん	報告数	19	27	11	3	4		5	1		2	1
	定点あたり	0.53	0.75	1.10	0.50	1.00	0.00	1.67	0.25	0.00	0.50	1.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	1										
	定点あたり	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	12	10		2			2	1	1	2	2
	定点あたり	0.33	0.28	0.00	0.33	0.00	0.00	0.67	0.25	1.00	0.50	2.00
急性出血性結膜炎	報告数	1										
	定点あたり	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	5	7	6		1						
	定点あたり	1.00	1.40	3.00	0.00	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数	3	1			1						
	定点あたり	0.43	0.14	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数		2			1					1	
	定点あたり	0.00	0.29	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00		1.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:5、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2017年第1週～3週)

2類感染症	結核	14例(6)		
4類感染症	E型肝炎	1例	つつが虫病	5例(1)
5類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	2例(1)	梅毒	1例(1)

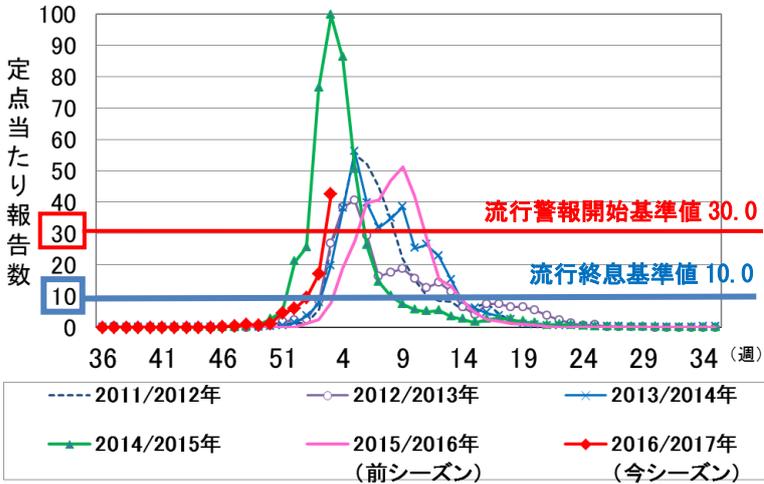
()内は今週届出分、再掲

インフルエンザ情報 《県内第3週、全国第2週（再掲）》

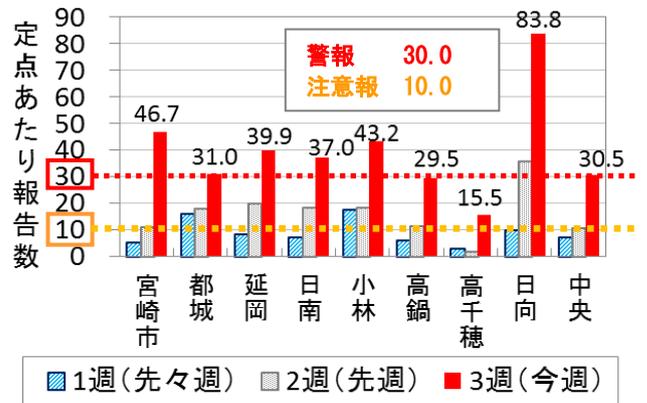
□ 県内第3週インフルエンザ発生動向

2017年1月16日～1月22日までの1週間で2,509人（定点あたり42.5）の報告があった。前週の約2.5倍と増加し、例年同時期の定点あたり平均値*（33.3）の約1.3倍であった（図1）。保健所別推移を図2に示す。年齢群別では5歳未満が全体の19%、5-9歳が28%、10-14歳が25%、15-19歳が9%、20-59歳が14%、60歳以上が5%を占めた。（図3）

（図1）インフルエンザ発生状況



（図2）インフルエンザ保健所別推移（第1～3週）

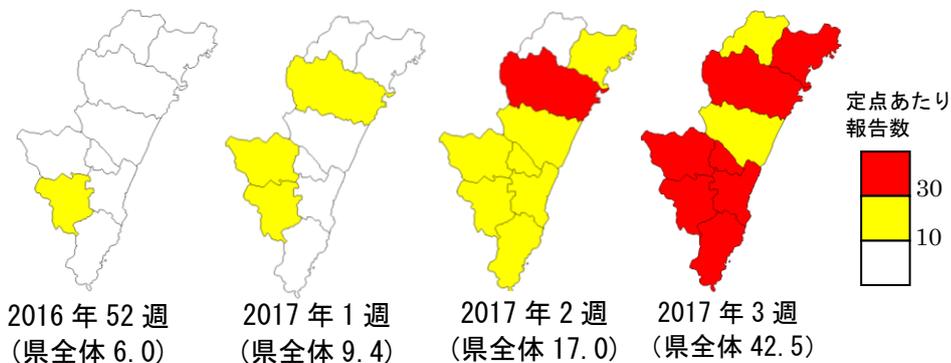


（図3）年齢群別割合の推移（2016年51週～2017年3週）

週	5歳未満	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～59歳	60歳以上
51週 273人	4%	18%	27%	14%	32%	5%
52週 354人	11%	20%	23%	8%	31%	7%
1週 556人	18%	14%	12%	10%	37%	9%
2週 1,003人	21%	21%	15%	11%	24%	8%
3週 2,509人	19%	28%	25%	9%	14%	5%

□ 5歳未満 □ 5～9歳 □ 10～14歳 □ 15～19歳 □ 20～59歳 □ 60歳以上

保健所別インフルエンザ警報・注意報レベル状況 2016年第52～2017年3週



□ 全国第2週インフルエンザ発生動向

2017年1月9日～1月15日までの1週間で75,576人（15.3）で前週比144%と増加した。愛知県（24.7）、岐阜県（21.0）、埼玉県（20.2）からの報告が多い。年齢群別では5歳未満が全体の約18%、5-9歳が18%、10-14歳が13%、15-19歳が8%、20-59歳が32%、60歳以上が11%であった。